

はじめて

NewStaff

チーム ZAITAKU の「新メンバー」を紹介します。

2月



メディカルアシスタント
山中 孝予

出身地 兵庫県

趣味 中学の頃に音楽に興味を持ち始め、アコースティックギターをはじめました。他にバンドでベースをやっていました。今でもたまにギターを弾いています！

好きな食べ物 関西人なのでお好み焼きなどソース物が好きです！

その他 兵庫県から引っ越してきたので、いろいろおいしいご飯のお店を教えていただけたと嬉しいです。

最後に一言

見るもの聞くもののほとんどが初めてのことばかりで、いろいろとご迷惑をおかけすることもあると思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

2月



医療ソーシャルワーカー
長谷川 洋美

出身地 三重県

好きな食べ物 へんばもち、エビのアヒージョ、カリフォルニアロール、赤から1番

ストレス解消法 コーヒーを飲んで寝る。本屋に行って気になる本を立ち読みをしたり、図書館で本を借りる。マッサージしてもらう。ひなたぼっこする。

1番楽しいとき 友達とカフェでまったり過ごすこと、サシで飲むこと。

最後に一言

ほぼ未経験の相談員です。法律も制度も変わっている上に必要な知識がたくさんあり、多職種の職員や地域の関係機関との連携、仕事の流れに試行錯誤の毎日です。不安やプレッシャーもありますが、職場の皆さんがとても親切で助かり、楽しく働いています。まだまだ未熟者ですが、患者さんやご家族の方から、相談して良かったと言ってもらえることを目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

3月



理学療法士
磯貝 恭兵

出身地 愛知県

好きな食べ物 魚介全般です。週末には料理をするため子どもたちもすすく魚介好きに育っています。

家族 妻、双子の娘と一人息子、犬の5人家族と一匹になります。週末は家族と散歩など屋外で過ごすことが多いです。

好きなこと 無類の昼寝好きです。休みの日は家族が騒いでいるリビングでよく寝ています。

最後に一言

理学療法士としての就業は少しブランクがあり緊張しております。感覚を取り戻しつつクリニックの一員としてリハビリ業務を行えればと考えております。ブランク期間に福祉用具を取り扱う業者での勤務を行っていたため、今後は身体能力に合わせた住宅設定など行えたらと考えています。よろしくお願いします。

4月 医師 武藤 啓介

趣味 読書、史跡めぐり、Youtube、テニス

好きな食べ物 あんかけ焼きそば
休日の過ごし方 たった寝る。

最後に一言

縁あってお世話になることになりました。もともとの専門は内科(循環器)になりますが、腰は低く、フットワークは軽く、をモットーにしておりますので、お気軽に何でもご相談ください。

4月 医師 中村 侑暉

好きな食べ物 お酒が苦手ですが、その分コーヒーと甘味が好きです。甘味は特に和菓子が好きです。

趣味 体を動かすことが好きです。学生時代にやっていたテニス、ゴルフの他、ランニング、サイクリング、筋トレをします。体を動かさない時は、音楽鑑賞や映画鑑賞をしたりします。

その他 自分のためになり、人のためにもなることを広げていきたいです。まだ具体的なビジョンはないですが、どうせやるならたくさんの人を巻き込んで大きくやっていくのが夢です。

最後に一言

気持ちに寄り添えるような心がけをしていきたいと思います。頑張っていきたいので、よろしくお願いします！

4月 医師 白倉 由隆

好きな食べ物 春巻きと餃子です。

休日の過ごし方 家族と公園へ行ったり、自宅の多肉植物を愛でたりしています。

趣味 庭いじり、おいしいものを食べること、最近ではYoutubeを見ながら自宅トレーニングに励んでいます。

最後に一言

糖尿病・内分泌を中心に一般内科全般を診療しておりました。これらの経験を生かして地域の皆様に貢献していきます。また、今後三重県津市で在宅医療を開業すべく日々勉強させていただきます。



看護師だより

今回ご紹介させていただく患者様はE.H様です。H様は訪問すると「変わらないです、いつもお迎えが来るか。」と冗談をにっこり笑顔で話されます。

H様は20歳代でお怪我をされ車椅子生活を送られてきました。受傷した頃はお若かったため車の運転以外の身の回りのこと、子育てはご自分でされてきたそうです。

当院は令和3年より訪問診療を開始させていただきました。訪問当初は大きな褥瘡(床ずれ)があり、ほぼベッド上での生活をされていました。訪問診療開始に伴い褥瘡の処置は毎日訪問看護に依頼し、管理栄養士、当院認定看護師、ケアマネジャー、デイサービスがチーム一丸となりH様の褥瘡完治を目指してきました。

令和5年、褥瘡の状態が良くなってきており治療まであと一歩です。ここまで褥瘡が良くなったことはご家族様の献身的な介護と在宅チームの団結によるものだと思います。

ご自宅での療養を開始するにあたり多くの患者様、ご家族様より不安なお気持ちを聞く機会があります。そんな時私たち看護師はできるだけ患者様、ご家族様が負担を負わなくても良いようにサービスを導入されることをお勧めします。



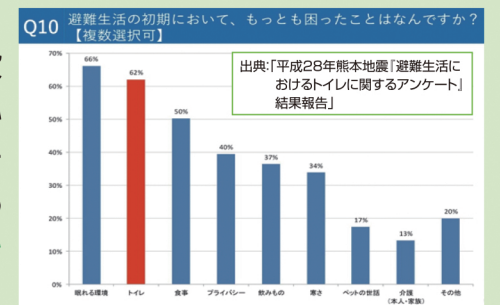
災害に備えてできること
Take Steps



Step6「災害時の排泄への備え」

災害初期、何に困ったか。あるアンケート結果では、食事よりもトイレの問題でした。1995年阪神・淡路大震災では、水洗トイレが使えず(停電、断水、排水設備破損など)で便器が排泄物で溢れました。排水管が壊れているときに水洗トイレを使用すると汚水が溢れ、逆流します。上の階で水を流したら、下の方に大きな影響を及ぼしますので、破損していないことを確認するまで水を流さないようにしましょう。

衛生状態の悪化は感染症を引き起こします。避難所へ仮設トイレの設置に7日以上かかったのが5割に及びました。各々での事前の対策が必要です。トイレに行かないように水分摂取を控えると、脱水やエコノミー症候群などの命の危険にもつながります。排泄は心身の健康を守るKeyです。①こまめに休憩、②十分な水分補給、③果物など食物繊維を多く含む食事(例:バナナなど)、④足を動かすことを心がけてください。



<便器が破損していないときの簡易トイレの作り方>



- ① トイレの便座を上げて「大きなごみ袋」を入れる(便器をすっぽり包む)
- ② 便座を下ろし、もう1枚「大きなごみ袋2」を便座の上に広げる(余裕をもたせる)
- ③ 「大きなごみ袋2」の中に「ちぎった新聞紙」を入れる
- ④ 用をたしたら、便座の上においた「大きなごみ袋2」をしっかり縛りゴミとする

《準備するもの》携帯トイレ、トイレトーパー(1日5回として7日分)、大きなごみ袋、凝固剤(排泄物を固まらせて処理する)、新聞紙、ウェットティッシュ

注意 下水道が破損している場合があれば、水を流さない!! 破損していなければバケツ1杯を勢いよく流す(タンクに水を入れない)